

# 『福翁自伝』を読む —日本の近代化と福澤諭吉— (その15)

2015, 3, 14

## 福澤諭吉の「三つの大願」 —『福翁自伝』の結び—

- ◇ 日本の近代化・文明化の流れのなかで、福澤がいかにかそれに貢献したかを14回にわたって論じてきた。ところで福澤自身は自分の生涯についてどのように考えていたのであろうか。福澤は最晩年、自分の人生を振り返って、自分の人生を総括している。「二つの大願」は成就したが、成就できていない「大願」が残った、これからは「第三の大願」成就のためにさらに励みたいと、『福翁自伝』はこの福澤の「三つの大願」の論述をもって結ばれている。それでは、福澤の「三つの大願」とは何か。「読む」最終回(今回)はその内容を論ずることをもって結びとするが、その前に、今回は最終回なので、ここでもう一度、14回の議論を思い出しながら、福澤の生涯を概観しておくことにしよう。
- ◇ 福澤は1834年生まれ、「明治の第一世代(明治維新をなしとげ日本の近代化の基礎を創出した世代)」に属する。天保(1829~1843)生まれの人々がそれにあたる。大久保利通(1830)、吉田松陰(1830)、木戸孝允(1833)、橋本左内(1834)、近藤勇(1834)、江藤新平(1834)、福澤諭吉(1834)、坂本竜馬(1835)、井上馨(1835)、大隅重信(1838)、伊藤博文(1841)など。ちなみに、勝海舟は1823、岩倉具視は1825、西郷隆盛は1827生まれである。
- ◇ 福澤は中津藩の下士(13石一人扶持)の子(二男)、幼少にして父を失い、母、兄の庇護の下、中津で育つ(「幼少の時」)。
- ◇ 日本の明治維新への流れは1853年6月、浦賀にペリーが来航したことをもって始まる。その翌年(1854年)2月、福澤は中津藩家老の子、奥平杏岐を頼って長崎に遊学する。福澤20歳(「長崎遊学」)。ところが、杏岐との折り合いが悪く、長崎を抜け出し、翌年(1853年)3月、兄三之助の紹介で緒方洪庵の適塾に入門することになる。ここでの福澤の猛勉強が後の福澤の知的財産になる。(福澤思想の原始的蓄積の時期)。この時期を物語る「大阪修業」と「緒方の塾風」の箇所は『自伝』の圧巻である。1857年秋には緒方塾の塾頭になっている。
- ◇ 1858年4月、井伊直弼が大老に就任し、同年6月、独断で「日米修好通商条約」を締結したことから、にわかには、尊王攘夷→幕府批判が高まった。夷狄の脅迫に屈し、天皇の勅許なしに独断専行するとは何事か、という訳である。井伊は自分の信念を貫き、断固、反対派に立ち向かう。「安政の大獄」が始まったのである。それによる世情騒乱のなか、福澤は中津藩江戸藩邸内蘭学塾教師の要請を受けて、大阪から江戸に移住し、1858年10月中津藩鉄砲洲中屋敷に塾を開設した。慶応義塾の前身である。翌1859年、橋本左内、頼三樹三郎、吉田松陰らが処刑されるなか、福澤は横浜視察で英語が世界の共通語になっているのを知って、俄然、英語の猛勉強を始める(6月)。同時に、軍艦奉行木村摂津守に働きかけ、11月、「咸臨丸」乗船許可を勝ち取っている。(他方福地源一郎は夢叶わず)。
- ◇ 翌1860年1月17日咸臨丸は浦賀を出港し、5月5日に帰国した。この時のアメリカ体験(福澤26歳)が福

③

澤の思想形成に決定的な影響を与えている。福澤のアメリカ体験は福澤の「原体験」と云ってもよい。福澤はそこで欧米文明の素晴らしさに魅了され、日本の開国・文明開化の必要を痛感し、そのために一生を捧げる覚悟を固めたのである。帰国すると「井伊大老暗殺」の報(3・3 桜田門の変)を受ける。ここから、幕末→明治維新の流れが一気に加速する。帰国後、福澤は幕府外国奉行支配・翻訳方の職を得、塾経営のかたわら、幕府に出仕することになる。

- ◇ 1861年12月、福澤は中津藩上士土岐太郎ハの次女錦と結婚する。(二人の間に三男五女)。当時幕府は諸外国に開港の7年延期を要請していた。その具体的な交渉のために「幕府遣欧使節団」が結成され、福澤はその正式な随員としてヨーロッパ諸国を歴訪する(1861年12月22日出発、インド洋から紅海を経てスエズ→マルセイユに渡り、そこから、フランス、イギリス、オランダ、プロイセン、ロシア、ポルトガル、を歴訪し、1862年12月12日帰国)。その四年後、福澤はこの時のヨーロッパ視察ノートを元に『西洋事情(初篇)』を刊行し、日本の近代化・文明化に多大な影響を与えることになる。帰国後の状況を福澤は次のように述懐している。帰国すると「尊王攘夷の嵐」が吹き荒れていた。そのため、この時期(明治維新へ向けての動乱の時期)、福澤は塾生の教育と幕府の翻訳局の仕事に務めること以外は、息をひそめて生活することを余儀なくされている。しかし福澤は翻訳局の仕事をして、欧米列強の動向は詳しく察知していた。そして、それを、メモ書きにして残しておいたが、脇屋卯三郎がつまらぬことで処刑されるに及んで危険を感じ、「外交情報メモ」を焼き捨て、いわゆる「三年の空白」時期を持つことになる。福澤が『西洋事情(初編)』を執筆し刊行したのはこの期間である。(1866年10月刊行)。刊行されるやそれは爆発的に売れ、明治維新への流れに大きな影響を与えることになる。

- ◇ 1866年1月、坂本竜馬により薩長同盟が締結されたことから、倒幕→明治維新への流れが決定的になる。「船中八策」(坂本竜馬)さらにそののちの「五箇条の誓文」(由利公正ら)には明らかに『西洋事情』の影響がみられるが、そこに盛り込まれた思想にそって明治維新—江戸城の明け渡し(1868年4月)・明治改元(同年9月)—が断行されていく。福澤は当初、明治(薩長幕藩)政府に懐疑的であったが、明治政府が「廃藩置県」を断行するのを見て、明治政府を見直し、政府への協力姿勢を示し始めた。しかし、政府要人への勧誘は最後まで拒否し、私人の立場から、教育と学問(言論)を通じて、日本の近代化・文明化の道筋を示し、それに貢献する人材の育成に努めるという生き方を貫いた。

- ◇ 日本人民(衆人)の智徳の発展→一身の独立→一国の独立(『学問のすゝめ』の主旨)。これまで繰り返し論じてきたように、これが福澤思想の核である。そのような福澤思想の核に貫かれる、福澤の主著をここで確認しておこう。  
①『西洋事情初篇』(1866,10)、②『学問のすゝめ初篇』(1872, M5, 2)、③『文明論之概略』(1875, M8, 8)、④『分権論』(1877, M10, 11)、⑤『通俗民権論』、『通俗国権論』(1878, M11, 9)、⑥『民情一新』、『国会論』(1879, M12, 8)、以上がイギリス型市民社会の実現を目指す福澤の主著である。これらの諸著(特に『国会論』)に触発されて自由民権運動が盛り上がる。国会開設近し。福澤は「文詢社」を興し(1880, M13, 1)、国会開設に備え、イギリス型議員内閣制に基づく憲法草案(文詢社案)を作成する。しかし、福澤らの欧化政策を危険(基本矛盾)とみる井上毅ら保守派の反撃を受けて(明治14年の政変)、福澤らのイギリス型市民社会構想は挫折し、伊藤・井上主導のもと、日本はプロシヤ型立憲君主制への道を歩むことになった。「明治14年の政変」は日本の

近代化の分水嶺)。

- ◇ 明治 14 年の政変の直後、福澤は『時事新報』を発刊する(1882, M15, 3)。以後、福澤の思想・著作は『時事新報』をどうして発表されていくことになる。ちょうどその頃、福澤は朝鮮の近代化・文明化を目指す金玉均ら朝鮮の若き志士たちに出会い、その志に心を打たれ、彼らの運動に協力している。『時事新報』に矢継ぎ早に発表された、金玉均らの運動を応援する、あまたの「社説(論説)」は、福澤がいかに朝鮮の近代化・文明化に挺身したかを物語っている。1884(M17)年 12 月、金玉均らは朝鮮の近代化・文明化を求めてクーデタ(「甲申政変」)を企てたが失敗する。福澤の夢—朝鮮(アジア近隣諸国)の近代化・文明化に協力するのは先進国日本の使命である—はこの時砕かれたのである。「脱亜論(1885, M18, 3)」はその絶望感のなかで書かれたものである。
- ◇ 夢(日本人としての使命感)を砕かれた福澤は、その直後から、日本女性の地位向上のために、論陣を張り始めている。『日本婦人論』(M18,6)、『日本婦人論後篇』(M18,8)、『男女交際論』(M19,6)、『日本男子論』(M21,8)、『女大学評論、新女大学』(M32,6)。これら一連の福澤の「女性論」については我々はじっくりと学んできた。日本女性の地位の向上は福澤の「三つの大願」の一つである。
- ◇ 1897(M30)年 7 月『福翁百話』が刊行された直後の同年 11 月、『福翁自伝』の口述筆記が始まり、それは 1899(M32)年 6 月に刊行されている。福澤最晩年の作品である。福澤は『自伝』の末尾で最晩年の生活状況を述べつつ、自分の人生を振り返っている。そして、それを「三つの大願」に要約する事によって、『自伝』を結んでいる。(『自伝』刊行の一年半後、1901(M34)年 1 月 25 日福澤死去)。
- ◇ 以下、『自伝』に則して、福澤の最晩年の生活状況とそれとの関連で述べられる「三つの大願」をみていくことにしよう。

# 『自伝』の要約

最晩年の生活状況から人生を回顧するくだり。これが「人生回顧」のなかで「三つの大願」が述べられる。

今でも昔は

早く寝て朝早く起き、食事前に一里半ばかり芝の三光から麻布古川辺の野外を少年生徒と共に  
 散歩して、午後になれば居合を抜たり米を搦たり、一時間を費して晩の食事も、  
 展合 米搦  
 チャンと規則のようにして、雨が降っても雪が降っても年中一日も欠かしたことはない。去年の晩秋戯れに、

一点寒鐘声遠伝

半輪残月影猶鮮

草鞋竹筴侵秋晚

歩自三光渡古川

なんて詩を作りましたが、この運動養生が何時まで続くことやら、自分で自分の体質  
 の強弱、根気の有無を見て居ます。回顧すれば六十何年、人生既往を想えば恍として  
 行路変  
 化多し  
 夢の如しとは毎度聞く所であるが、私の夢は至極変化の多い賑かな夢でした。

(P. 402 5 3)

# 「大願」の「経済的自立」

「貧乏は苦しいに違いないが、その貧乏が過ぎ去った後で昔の貧乏を思い出して何が苦しいか、却て面白いくらいだから、私は洋学を修めて、その後トウやら斯うやら人に不義理をせず頭を下げぬようにして、衣食さえ出来れば大願成就と思て居た処に、又因らずも王政維新、いよく日本国を開いて本当の開国となったのは難有い。幕府時代に私の著わした西洋事情なんぞ、出版の時の考へには、天下にコンなものを読む人が有るか無いか夫れも分らず、仮令い読んだからとて之を日本の実際に試みるなんて固より思いも寄らぬことで、一口に申せば西洋の小説、夢物語の戯作くらいに自から認めて居たものが、世間に流行して実際の役に立つのみか、新政府の勇氣は西洋事情の類でない、一段も二段も先きに進んで思切た事を断行して、アベコベに著述者を驚かす程のことも折々見えるから、ソコで私も亦以前の大願成就に安んじて居られない。」(P 404)。

幕末の動亂の心から福沢は「経済的自立」といふ「大願」をかちとく。それを決定づけたのは西洋事情の成りである。それにも勇氣がけられ、その「大願」にちぢむ。

# 「大願」の「全国人心を變へる」

「コリヤ面白い、この勢に乗じて更に大に西洋文明の空気を吹込み、全国人心を根底から転覆して、絶速の東洋に一新文明国を開き、東に日本、西に英国と、相對して後れを取らぬようになれないものでもない」と、茲に第二の誓願を起して、投身に叶う仕事は三寸の舌、一本の筆より外に何もないから、身体の健康を頼みにして専ら塾務を務め、又筆を弄び、種々様々の事を書き散らしたのが西洋事情以後の著述です。一方には大勢の学生を教育し、又演説などして所思を伝え、又一方には著書翻譯、随分忙しい事でしたが、是れも所謂万分之一を勉める氣でしょう。所で顧みて世の中を見れば堪え難いことも多いようだが、一国全体の大勢は改進々歩の一方で、次第々々に上進して、数年の後その形に顕われたるは、日清戦争など国民一致の勝利、愉快とも難有いとも云いようがない。命あればこそコンな事を見聞するのだ、前に死んだ同志の朋友が不幸だ、ア、見せて遣りたいと、毎度私は泣きました。……………、兎に角に自分の願に掛けて居たその願が、天の恵み、祖先の余徳に由て首尾能く叶うたことなれば、私の為めには第二の大願成就と云わねばならぬ。」(P 404 ~ 5)。

- 1 全国の人心を變へる
- =
- 2 独立自強の氣風を興へる
- 3 こと
- 4 東洋に一新文明国を築く
- 5 こと

「大願」は衆人の知徳の発展、独立自強の氣風の養成、國の強國の建設である。

- ★ 福沢は和人の巨擘から、学生の教員目(人教員目)として(著書『西洋事情』、『西洋事情』)を著した。『西洋事情』は「東洋を論ずる」とも述べたが、全体として、日本の「大算」も成就させたといっている。
- ★ 『西洋事情』の末には「隣国(朝鮮・中国)の近代化・文明化に失敗した」として「14年の政変」以降の伝統主義の復活であったと思われる。
- ★ さらに最後に、いま成就している「大算」として、口自信を述べている。
- ★ さらに注意しなくてはならないのは、「西洋事情」の序文に「政治の改革は、仕事であるから、一人一人の自覚は口ではいえない」といって、そのことを示していることである。

その「大算」：未だ成就している「大算」

1. 全国男女の気品の向上(女性の地位の向上)
2. 多数の民心を和らげる
3. 言語学なる学理の研究

不平を云わすればマダ／＼幾らもある。外国  
 交際又は内国の憲法政治などに就て其れ是れと云う議論は政治家の事として差置  
 き、私の生涯の中に出来て見たいと思ふ所は、全国男女の気品を次第々々に高  
 尚に導いて眞実文明の名に愧かしくないようにする事と、仏法にても耶蘇教にても執れにても  
 宜しい、之を引立て、多数の民心を和らげるようにする事と、大に金を投じて有形無形、高尚  
 なる学理を研究させるようにする事と、凡そこの三ヶ条です。人は老しても無病なる限りは唯  
 安閑としては居られず、私も今の通りに健全なる間は身に叶う支けの力を尽す積です。

(P.405 36)。

★ この1年半後、福沢はなくなっている。福沢思想をいかに継承するかが  
 私々の課題である。